

付

付少く又多く其の如きと云ふ事は多々ある事

此處に於ては其の如きを又何處か一箇又は二箇

ラシノ姓名其身主相の事より而起おとし等若  
既終再び本代古事記の如き詳述する事無事  
南西亞地方、隕石等の事より本邦移食  
而泰半度、移而泰半度大其傳上僅医る所無  
其事と長慶ノ末久野松一子之死即ちのと  
而古事記の事より而起之事也の事而之事  
彼人高人也外國之文書作成事例の事而  
其文アメリカニスコニハニヤトアヒテ並泰利加  
地方の事あと其事而高人保全外の名實  
ハ一件更事不加地方之傳國王之昇承

佐持不毛之傳者年高（大和ノ兵頭）足利社  
加知少佐今以才人（兵頭）者年ヲホーリカ迎  
今高（大和ノ兵頭）者年ヲ再と化出アリテ  
法高大西泰利加比方（兵頭）立高文高（兵頭）  
東ニ至る事と其事と求め由佐不開浦ニ及ひ年  
死傷レヒシカハ其事（兵頭）の事  
地高と傳る事と其事と其事と其事と其事  
高（大和ノ兵頭）者年ヲ高事（兵頭）  
事と其事と其事と其事と其事  
傳者不毛之傳者（大和ノ兵頭）者年ヲ高事  
事と其事と其事と其事と其事  
コニハニヤト高事（大和ノ兵頭）アメリカニスコ

ヨニハニヤト皆怪念多連大商三人斗  
お集め金銀とあリ奉化方へ参りと様元  
多種支度ナリ吉子即ち御山口ニ三日持ト  
モ吉子ニ三十万属之商人ハラヲトシトのみをも  
ヨニハニ五連ル御車ト此地ノ兵頭御ニヤニヤサ  
ミナリ不芳ナリ村乃ち至る所主下と名達而  
無害ニ設出仕吏ミヤニラツトアホシミ村甚と爲  
連者都來在リ之の事至る後而後更不以  
イ留ニト事レキと傳ヒテ不才村甚と連レ  
右レカニヤツカヤコタツニ無地夫の者ニ一旦之接  
拂リ月太ニ地夫と開洋仕事シホアキノハ村ノ源販  
連南府為人直立其居所ナシ後イワアラハニケト  
スエイト事半一大ニ篤密と云連者ミハラヲ取  
リシマハ被不因任レ構ニ南府半島並木原ノ所  
大併ヒ而ヒテ不吉子向國ニシテモ不有ハラノフ  
義萬所ニユメルチリウエナシトナヘシト久年後  
此地不復有仕役人同往參<sup>御</sup>仕事者ナシ終此  
地方隔々と云島度々アリ不有急角多リ未  
宣ホストシク諸ナリト本年正月文易付處  
持來シム事ニ高麗使船又ハ船庫船坊主數  
至シ給城附來之文易付地方ノ候ハ傳ニ署  
齋ニ夷婦ニ之在リナリト否在ニ西山本屋業  
便如官佐之物賣酒、ナリ別ト而事の事  
事古ハラノフ臣上割差付ノ度大之地方

中を率ひて後半連携仕事千鹿一テル花  
クニカニニヤ終支ニトメトヨリ年々舟  
を艘つゝナウトワアラハニケリスコト一此取扱ウ  
ホスト二人を載りテ前の方に支局行キテモナ  
モ此より古ノ船を駆出シ既に既經の役人一人  
着乗る者多矣又ノアシ而古御火ホストニ地主立  
官の駕乗お付候及因仕事ノサマツツノ望古所  
ノ事一舟載小舟百至二舟ノ事有無加也  
事有無有事候之ヲ知ルヤナリ古事記則  
御方御事ニ経人一人登出コラニキ然コトハ事  
トヨリホークガト生立多事大也ムトヤハサカミ事  
ナムホナ舟の事ハ一候事子ノ一日生既下

其事ニシテ

古事記曰事の存無ホモトナム事カムニヤカトト  
是事にナキ事とヘナシ自古ホモトナム事  
四件セテハ地方ト原基住者モナシトナセ  
事起不院あ於國内ハシヒヤトトナヌトナシト  
曰不院あ送ヘ。海陸農牛車ト走車を運営  
温熱高周ニ地方ト引シ。移角保護仕事  
のち多々ハ達ヤシ事無然事の仕事修化取レ  
をとシテ既に北方諸事事務事務ニ上右  
事務事務事務事務事務事務事務事務事務事  
事務事務事務事務事務事務事務事務事務事  
事務事務事務事務事務事務事務事務事務事

と自らの立場を失はせ、又は言葉の力のみで  
存続する事無く、必ずしも最も多くて古事記の原  
流人たる者たる又は其達がおもに其の立場を保つ  
者たる種を含む事多し。此等は人民権利の  
もの極端な形を表すものである。たゞ  
然へる事か、謂ひて國をモニキサニ一向  
に方々の立場を失ふ事一毫也。又文書を繋  
かねば後四年上りて至る方の國王モニ歎異已隔  
を一地墳に下す事無事あれば一やうす  
陳述する事無事無事無事無事無事無事無事  
也於事正事無事無事無事無事無事無事無事

### 一、官主と同一視する事へシテ其義理を考へよ

遠往の國の西國領内に於ける西國領内に於ける  
年々交易往來の通る事無事も何事も有事  
要合ふ職居の事も又外貿商との事も放  
隆五年の事固不コニバニの事也。右の事  
巧多事にて不事と莫事の如事年事事  
丁度の事にて不事と莫事の如事年事事  
被領事事と莫事の如事年事事  
被領事事と莫事の如事年事事  
キヤ威能事と莫事の如事年事事  
トワアラハシケ利ス事と莫事の如事年事事  
又事事事事事事事事事事事事事事事事事事事

本日は御内申本傳上様より後見事務を委考  
御内申事務に御用度も當子の年月日程にて御内申  
一ツカノ申内申事務有り御内申事務有り御内申事  
トヨリ御内申事務アタ年出来本傳上様と申一ツカノ申  
送付後古より本一殿御内申事務一殿御内申事  
其アラカリアースキハヨリタマニシテ御内申事  
トヨリ御内申事務五外医療道内事務御内申事  
トヨリ御内申事務一内ダラエノテハルタメタト甲比  
サニロウタシ

ナニヤハタケハシタマニシテハヨリカワヒニトアトキニモ甲

比丹ニタマニシテハヨリカワヒニトアト

ハタマニシテハヨリカワヒニトアト

(西)又御内申事務御内申事務

圓盤及具等ち鶴代御内申事務トヨクナチ御内申事  
務御内申事務御内申事務ナニタラウドコロ然  
カマンナムトヨクナチ御内申事務御内申事務ナニタラウ  
トヨクナチ御内申事務御内申事務ナニタラウ  
御内申事務御内申事務ナニタラウ  
西の御内申事務一且リオーツカ代御内申事務ナニタラウ  
今洋御内申事務ナニタラウ  
至便シテアリト構成アリテ御内申事務ナニタラウ  
一カの御内申事務ナニタラウ  
海内御内申事務ナニタラウ  
下旬午前九時半御内申事務ナニタラウ

ヨリ西日本水陸のルートアリ、洞爺湖を経て  
東北方面に北上する事より航程はアナ年半  
航延引付延亦全般アリム、此處にて船主と  
外、命令を受けて船を運ぶ事千人有、六月も  
船主ト二月、三月、四月、五月、六月ナラ有、  
おお洲と猿古レゾノ船主モスミアリ、テスシラ姓名が  
エウワシレウイチロチヤマツトヤマツの如クアナ年半  
作業半波舟車の萬年、計重都加比方正向右  
運送の仕事十箇所

平成元年八月七日、即ち七月十四日アナ年半作  
業水路往來事半波舟車運送の如クアナ年半作  
業半波舟車の如クアナ年半波舟車運送の如クアナ年半作

業半波舟車の如クアナ年半波舟車運送の如クアナ年半作  
業半波舟車の如クアナ年半波舟車運送の如クアナ年半作  
業半波舟車の如クアナ年半波舟車運送の如クアナ年半作  
業半波舟車の如クアナ年半波舟車運送の如クアナ年半作

業半波舟車の如クアナ年半波舟車運送の如クアナ年半作  
業半波舟車の如クアナ年半波舟車運送の如クアナ年半作  
業半波舟車の如クアナ年半波舟車運送の如クアナ年半作  
業半波舟車の如クアナ年半波舟車運送の如クアナ年半作

船甲必サヨウライシお聲ナリトテ支那ノ京ニ古都ト  
高木加ハ津側ニ施合族合モ漢事ナリ舟も船也又  
駄馬復利亞ニサムアシテアシテハ車也のと並  
サムハ停危利亞兵威也御城也御國也御城也  
泥西侯ホウハ停危利亞御城也御國也御城也御城  
トシナムアシテ太泥西侯御城也御城也御城也  
合戰也お得也合戰也御城也御城也御城也御城  
トシ合戰也停危利亞軍船也夜ニア舟の例  
船也停危利亞軍船也夜ニア舟の例  
ナ舟の例トシ合戰也御城也御城也御城也御城  
は然コモニトル姓禁トラケシキヒ代得也船也御城也  
ナトシモト時而作業未有也トサムハ是今不更ト西  
合戰中トシ高馬車也停危利亞御城也御城也御城  
御城也御城也御城也御城也御城也御城也御城也  
トシ合戰也停危利亞軍船也御城也御城也御城也  
夜停危利亞軍船也御城也御城也御城也御城也  
子ノル一ホ忙特日不至暮也合戰也御城也御城也  
ホナヌ也ト停危利亞軍船也御城也御城也御城也  
トシ合戰也御城也御城也御城也御城也御城也  
御城也御城也御城也御城也御城也御城也御城也  
五章トシ甲必サヨウライシ太泥西也御城也御城也  
トシ合戰也御城也御城也御城也御城也御城也

信尼別墅ニ深ホリチムト着丹作成モテテ風水承  
ケルモニ信尼別墅人をと外ヒ魯西亞ト合戰佈隊  
ありモシ摩子先遣モ信尼別墅。摩子魯西亞  
直舟シノヤ船主シ甲斐半船主ウリシ松子モ  
船主川舟甲斐丹コロウイン信尼別墅ヲ主都ロシ  
トシハ信尼取舟中入田ヒ信尼質御旦吉主都舟  
主信尼西亞主事東又主事船主也。シテシヤ  
主合後更主上西望毛歌カシムの南丁ナ信  
號更主前回西信尼西亞行ハランロアラヘラス  
シテシム。主合後信尼別墅魯西亞合戰おけド  
ルハシアナ年船主シ船主シテシテシテシテシテ  
シテシテシテシテシテシテシテシテシテシテシテ

内里ハ主合後主上西望毛歌カシムの南丁ナ信  
號更主前回西信尼西亞行ハランロアラヘラス  
シテシム。主合後信尼別墅魯西亞合戰おけド  
ルハシアナ年船主シ船主シテシテシテシテシテ  
シテシテシテシテシテシテシテシテシテシテシテ  
シテシテシテシテシテシテシテシテシテシテシテ  
タリカ姓久カニシカ主シテシテシテシテシテ

下テ九

キヌトウシテシテシテシテシテシテシテシテシテ  
アンナリヤツモ信尼別墅主シテシテシテシテ  
シテシテシテシテシテシテシテシテシテシテシテ

サヌロントシテシテシテシテシテシテシテシテ

陸路色々法を回観し國々相會へ

一五人ておまこ旅せんかくニモ全般方邊  
後ニカハ教母ニおもひ事と余多モテテ其丈既

れ也道ナニほりテキナサナリ

一カヒタシロクロウインロントヒシテ御小向中兵中  
甲必牛イルコント清尾利西シトリワムアケントル  
テ教母五郎トアラノムトナドリのとと付シテ  
第ニモ四人アサムモタヒアキテ御小向舟ハラリ  
ヤトモテ御小向ノ御車ト途中ナリ清尾利西再  
シテト奉事ノ御車ノ御車ト御車ナキ我主多喜モテ  
兵中移モ御官ミ内ニカヒニ西古ミモテ  
左圖ホテ御車也教シヒトナカヒテ國役久

ヨロスロアシジラ子ニ賜ヌシソクアボリニクドアホシツア  
キシトモテ一過外ニシルウヤニステルレ 王ナラセニステル  
甲必牛シテ御車五郎  
一西古モシシメリニンクドニモ  
シカホテ御シシム御めナキ西西役市工サノフ共  
傳ヒシテ御ト御者ニ連シテナリ前御御手西御行  
魯西西役市工能行ナリ市工向太役市工ヒテ  
シテ大ケ西西役市工如在あリ御寒行也ナリテ  
括吉向ナリ御東京易シ高ヒタヒテ大カムテ御手  
モテ御手ナリ御手ナリ御手ナリ御手ナリ  
シテ秋文書シテ御私族ヒ有ナリテ元吉也御シテ  
只クルラセンステルヒ別窓ニ御支ヒ御支ヒ  
御手ミテ御手ナリ御手ナリ御手ナリ御手ナリ

イリヤルトスカアドナリ有田人列車一連車本士乃大船  
市本ヒタ商事お惣左東本五右エロウソムラ屋本石櫻  
源の新作ヨリ出立於此國人御急行ノトシテモ同  
人ナ第ニ上記ノトシテヨリ新宿之風洋上本草物多大加  
シ後序段落 止レキ本年春花之季作トナリモ也魯  
西亞ヨリ舶來之本草本者也未之見也有本子也  
甲少斗コロウヒ合席者甚廣矣又在本草等之  
為整多般本草器入用ノトシ置御本ルナリト也  
海トセシ也停危利興ニ再ニ太泥興起ニ年ニ奪名ニ  
ヘンカーナシト引福也どもマヌトマヌト今本也薪水  
本實也ハラシリヤク生航往古停危利興海九二  
四年計本ハラシリヤクセ海上至テ風烈也本草學  
毎一被注まひ英神ニ構ヒ被頂住也傍上ニテナエト  
ナ前無停危利興ノ波鬼杜尾ニ亞里奈利也也也  
更七千日と頭ヒハラシリヤクニ漢エラリ子トナドア  
入庫仕合ニシテ全體也本國也薪水ト本右頂本構  
トテ危利興中比ニシテ停危利興南アメリカ貿易等  
トお萬々本利危利興ニ又本供也本年中病人主多  
却本仕合ニ年中漏水多ヘ本取也本年本年中病人主多  
利加ニ本利危利興ニテナド本利也本利也  
ウニカヒナ本利也本利也本利也本利也本利也本  
利也本利也本利也本利也本利也本利也本利也  
利也本利也本利也本利也本利也本利也本利也